

研究だより No. 2

押水第一小学校

令和4年 4月 28日

4月26日 6年研究授業(仲島先生)より

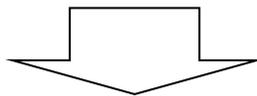
提案授業として、仲島先生に6年理科「物の燃え方と空気」の授業をして頂きました。整理会で成果・課題・改善策について話し合いました。

視点1: 実験結果を基に考察し、自分の考えを表現することができるように、気体のモデル図を用いて考察する活動を設ける。

| | |
|-----|---|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none">・児童は、図を使って説明することができていた。・教師が予想と考察を Jamboard で比較していて、分かりやすかった。・教師は児童の発言に対して、効果的な切り返し発問をし補足実験を行い、疑問を解決することができた。・あらかじめ、児童の発言や疑問を予想し、補助実験の準備を行っていた。 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none">・本時の重点の「思考を表現する場の充実」の場面で、児童同士が交流する時間が、もう少しあると良かった。・本時の深めたい場面で、対話から発言をつなぎ、言葉をくり返し押さえさせたかった。 |
| 改善策 | <ul style="list-style-type: none">・授業の中の深めたい場面で、児童らが交流できるようにするために、教師はタイムマネジメントに気をつけたり、手立てを工夫したりする。 |

視点2: 本時の学びを確実なものとすることができるように、適用問題とふり返りの場を設定する。

| | |
|-----|--|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none">・本時の内容に沿った、適用問題だった。 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none">・まとめを丁寧に取り上げてから、適用問題に入ると、書いてほしいキーワード(用語)を落とさずに、適用問題に取り組めたのではないか。・1時間の授業の中で、課題に戻り疑問を再確認したり、キーワード(用語)を確認する場面があるとよかった。 |
| 改善策 | <ul style="list-style-type: none">・1時間の中で何度か、課題にもどって考える時間を設け、本時のねらいや活動を確認する。 |



明日から全員が実践すること

◎授業者が、授業の中で深めたい場を明確にし、そのために時間を確保したり、手立てを考えたりする。